

道徳科学習指導案

日 時 令和6年12月16日(月)

第5校時 13:15～14:00

学校名 荒川区立峡田小学校

対 象 第1学年1組 34名

会 場 2階1年1組教室

研究主題 自分のよさを見つけ、学び合うキャリア教育の実践

1 主題名 私たちの住む地域の良いところ C「伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度」

2 ねらいと教材

(1) ねらい 荒川区の伝統野菜や地域の人たちの思いを知ること、地域に親しみをもって生活しようとする態度を育てる。

(2) 教材名 「みかわしまなと えきいんさん」 (自作教材：鈴木 貴代美 作)

3 主題設定の理由

(1) 価値観

本単元は、「小学校学習指導要領(平成29年告示)」(文部科学省)

第3章 特別の教科 道徳 第2 内容

C 主として集団や社会との関わりに関すること

〔伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度〕 第1学年及び第2学年

我が国や郷土の文化と生活に親しみ、愛着をもつこと。

を受けて設定した。

我が国や郷土の伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国や郷土を愛する心をもつことに関する内容項目である。

自分が生まれ育った郷土は、その後の人生を送る上で心のよりどころとなるなど大きな役割を果たすものである。また、郷土は、生きる上での大きな精神的な支えとなるものである。郷土での様々な体験など積極的に主体的な関わりを通して、郷土を愛する心が育まれていくが、郷土から国へと親しみをもちながら視野を広げて、国や郷土を愛する心を持ち、国や郷土をよりよくしていこうとする態度を育成することが大切である。我が国や郷土の伝統を継承することは、長い歴史を通じて培われ、受け継がれてきた風俗、習慣、芸術などを大切にし、それらを次代に引き継いでいくということである。我が国や郷土の伝統と文化を大切にする心は、過去から現在に至るまでに育まれた我が国や郷土の伝統と文化に関心を持ち、それらと現在の自分との関わりを理解する中から芽生えてくるものである。それは、国や郷土を愛する心へとつながり、さらに、我が国が果たすべき役割と責任を自覚することにもつながるものである。

1年生の段階では、昔の遊びを体験したり、地域の行事などに参加して身の回りにある昔から伝わるものに触れたりする機会が多くなる。このことを通して、家庭や学校を取り巻く郷土に目が向

けられるようになる。また、昔の遊びや季節の行事などを通して我が国の伝統や文化にも触れ、親しみをもてるようになる。

指導に当たっては、児童が住む荒川区の身近な三河島の駅員さんが自分たちの地域の伝統野菜を広めていく活動を知ること、地域に愛着を深めたり、親しみをもつことに繋げたりすることで、自分たちの生活のなかからも、荒川区のよさを知り愛着がもてるようにすること関連させて指導する。

〈参考〉

「第6節 道德教育推進上の配慮事項 1 道德教育の指導体制と全体計画 (4) 各教科等における道德教育学級活動の(シ特別活動)には、〔共通事項〕の(2)の「日常の生活や学習への適応及び健康安全」の内容としては、希望や目標をもって生きる態度の形成、基本的な生活習慣の形成や望ましい人間関係の形成、清掃などの当番活動等の役割と働くことの意義の理解、学校図書館の利用、心身ともに健康で安全な生活態度の形成、食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成を示している。これらのことについて、自らの生活を振り返り、自己の目標を定め、努力して健全な生活態度を身に付けようとすることは、道德性を養うことと密接な関わりがある。」と示されている。：「小学校学習指導要領（平成29年告示）」（文部科学省）より

(2) 児童観

入学して9か月。34名の児童は、元気一杯に過ごしている。児童は、20か所以上の園から集まっており、荒川区内外の地域の特色を、それぞれの園の特徴として学んできた経緯がある。また、行事や遠足などの事前指導では、今までの園での経験の中から、地域の公園や施設などのことを話してくれたり、自分の家の近くのことを説明してくれたりできる子も多い。校外学習では、歩いて目的地に行く際、地域の方やおまわりさんに声を掛けられたり、自分たちから挨拶をしたりするなど見守られていることに気付き、自分は地域の一員であると意識する場面も見られた。

また、各家庭の食生活も様々であり、一方で、食べ物に対する欲が少ない傾向にある。また出身園によって給食やお弁当などの昼食も様々であったため、好きな食べ物は食べるが、苦手な食べ物や野菜は食べることができない児童も多い。学校給食では、初めて食べるメニューに苦手意識を持ちながらも、栄養教諭の指導や声掛け、児童の成長等に伴い、食に対する意識が少しずつ向上しているところである。

そこで、特別活動では、「風邪に負けない健康な体」の保健指導との関連で成長に必要な栄養を取り上げたり、「元気な体をつくる野菜」の食育の指導で、野菜を取り上げたりした際に、江戸東京野菜に触れるなどして身近な地域にも食育や健康に関わる野菜等があることを学んでいる。また、学校図書館との関連として、野菜に関係のある図書に触れさせることで地域の野菜にも興味をもたせている。キャリア教育の関連として、自分の住む地域に興味をもつことで、荒川区に親しみを持ち、荒川区のよさを知り、自分が住む荒川区が大好きだからこそ、安心して生活できることへ繋がりをもてるようになってきた。

本授業では、自分が住む荒川区の地域に由来のある江戸東京野菜『三河島菜』と、普段の生活の中で利用している地域の『三河島駅』の駅員さんの実際の話をもとに、地域を愛する思いに触れることで、自分たちの住む地域に愛着をもち、そこに歴史のある江戸東京野菜『三河島菜』を通して、地域って素敵だな、だから自分たちも大切にしていきたいということを考えさせられるように指導したい。

(3) 教材観

【教材の概要】

荒川区の地域の人々が、日常で多く利用する三河島駅。その駅員さんが、区役所の方が持ってきた、かつて荒川区で育てられていた『三河島菜』の植木鉢を駅に置くことで、地域の人たちとの交流を図り、輪が広がっていく。また、その『三河島菜』から種を採取し、忙しい仕事の合間に育てる。そして、育てた『三河島菜』から新たに採取したたくさんの種を地域の人に配る活動を通して、幻の野菜『三河島菜』を地域に広める活動をしたり更に地域の人たちとの交流を図ったりするという話である。

【教材文活用の視点】

本授業では、自分が住む荒川区の地域にある『三河島駅』の駅員さんが、区役所の方からもらった三河島菜を絶やさずに種を取り育てようという思いや、採取した『三河島菜』の種を配って地域の人たちとの繋がりを作ったり伝統野菜を大切にしたりする思いを考えさせる。そうすることで、自分たちの住む荒川区には、地域を大切に思う人たちがいることを知り、地域の一員である自分たちも、大切にしていきたいと考えさせたい。

【教材分析】

場 面	心の動き	○基本発問 ◎中心発問	関連する価値
① 1行目から12行目 ・ 区役所の方が持ってきた『三河島菜』を初めて見た渡邊さん。	・ 初めて見るよ。 ・ 珍しいな。 ・ 駅に置いてもいいなんてありがとう。 ・ 大切に育てよう。		B 感謝 C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 D 自然愛護
② 1行目から12行目 ・ 「もちろんです。」と言って『三河島菜』を駅の入り口の近くに置いた渡邊さん。	・ 見てくれるかな。 ・ 見てほしいな。 ・ 興味をもってくれたら嬉しいな。	○ 『三河島菜』を駅の入り口の近くに置いた渡邊さんは、どんな気持ちだったでしょう。	C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 D 自然愛護
③ 1行目から12行目 ・ 『三河島菜』を見た地域の人たちに、声を掛けられた渡邊さん。	・ 嬉しいな。 ・ 『三河島菜』に興味をもってくれている。 ・ 温かい気持ちになるよ。		B 感謝 C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度
④ 13行目から16行目 ・ 『三河島菜』の種をとって育ててみようかなと考えた渡邊さん。	・ 『三河島菜』をこのまま終わりにしたくないよ。 ・ たくさんの人たちに見てもらったんだから、また見てもらえたらいいな。 ・ つないでいきたいな。		B 感謝 C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 C 勤労、公共の精神

	・ もっと知ってほしい。		D 自然愛護
⑤ 13行目から16行目 ・ 仕事の合間に『三河島菜』を大切に育てる渡邊さん。	・ 育てるのは大変だ。 ・ 本当に育つかな。 ・ 大切に育てるぞ。 ・ また、地域の人たちに『三河島菜』を見てほしいな。	○ 『三河島菜』をじっと見つめて 「三河島菜の種を取って、育ててみようかな。」と言って、育てているとき渡邊さんはどんな気持ちだったでしょう。	C 勤労、公共の精神 C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 D 自然愛護
⑥ 26行目から36行目 ・ 『三河島菜』の種を駅にきた人たちに配ってみようかなと思った渡邊さん。	・ 『三河島菜』をもっと知ってほしいな。 ・ 『三河島菜』を育ててくれる人がいたら嬉しいな。 ・ 喜んでくれるかな。	◎ 『三河島菜』の種を駅にきた人たちに配ってみようかなと思った渡邊さんは、どんなことを考えていたのでしょうか。	C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 D 自然愛護
⑦ 13行目から16行目 ・ 地域の人たちの声を聴くたびに温かい気持ちになる渡邊さん。	・ 地域の人たちが喜んでくれて良かったな。 ・ 育てて良かった。 ・ 地域のものをたくさんの人に知ってもらえて嬉しいな。		C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 D 自然愛護

4 年間指導計画における位置付け

11月 主題名「私たちの住む町」 C「伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度」

教材名「みつけて みよう」

12月 主題名「私たちの住む地域の良いところ」

C「伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度」(本時)

教材名「みかわしまなと えきいんさん」 (本時)

5 本教材とキャリア教育で育みたい力

○**自**分で考え、気付く力……自分の考えやよさに気付くことができる。(自己理解・自己管理能力)

○**友**達と関わり学び合う力……友達の考えを聞いて、自分の考えを広げることができる。

(人間関係形成・社会形成能力)

○活動を**ふ**り返る力……自分に合っためあてをたてて取り組み、振り返りができる。(課題対応能力)

○将来を**見**通す力……身近な将来をイメージして活動することができる。(キャリア・プランニング能力)

本単元では、多様な考えを出させるために、役割演技で即興的に演じさせた後で、話し合い活動を取り入れて交流させ、登場人物の考えを共感できるようにする。それらの考えを児童同士で共有することで、「友達等と関わり、学び合う力……友達の考えを聞いて、共感したり比較したりして自分の考えを広げることができる。(人間関係形成・社会形成能力)」を発揮する力を見出せるものとする。

また、一人ひとりが自己を見つめ振り返りができるようにするためにワークシートに自分の考えを書く活動を行う。そうすることで、本校のキャリア教育目標の一つである「自分で考え、気付く力……自分の考えのよさに気付くことができる。(課題対応能力)」につながるものとする。

6 指導に当たって

(1) 導入の工夫

三河島菜を実際に見せることで(手に入らなかったら画像)、教材への導入を図る。また、本校の校章や30周年キャラクターの『はっくん』を見せることで、自分の身近に地域の伝統があることに気付かせ興味関心を高める。

(2) 話し合い活動の工夫

ア 自分の考えをしっかりと意思表示できるようにするためにハンドサインを活用する。

イ 全員で話し合うときは、机をコの字型にし、お互いの表情を見ながら発言したり聞いたりすることができるようにする。

ウ 多様な考えを出させるために、即興的な劇を取り入れて演じさせ、話し合わせる。自分の考えを話したり友達の考えを聞いたりすることで、児童から多くの考えを引き出し、地域を愛することの大切さに気付かせる。(友達と関わり学び合う力)

(3) 書く活動の工夫

ワークシートには、地域に親しみをもって生活をしようとするということについて自分事として考えさせる。その際、図書や生活科で学習した「荒川区の良いところ」も参考にしてワークシートに書かせる。書けない児童は相談したりヒントカードを見たりして書かせる。(活動をふり返る力)

(4) 終末の工夫

荒川区の地域を大切に思い、実際に三河島菜を育てたり種を配付したりした駅員さんの話を聞くことで、自分たちの住む地域に伝わるものや、それを大切にしている人々がいることに気付かせ、自分の住む地域は良いなという気持ちを高める。※実際の駅員さん(GT)またはビデオメッセージで、参加してもらう。

(5) その他の工夫

ア 自作の荒川区の地域教材開発を行うことで、地域の実情や児童の実態に合った授業の展開を考えることができる。

イ 食育との関連で、栄養教諭に風邪の予防と栄養の授業で、野菜に焦点を当て江戸東京野菜や伝統野菜にも関心を持たせ、江戸東京野菜を給食の献立で出して食べさせることで興味をもたせる。

ウ 学校図書館との関連で、野菜に関係のある図書を参考にする。

7 本時

(1) 学習指導過程

時間	学習内容・学習活動	◇ 指導上の留意点 ☆評価 ★ キャリア教育で育みたい力
導入 5分	1 教材の内容に興味や関心をもつ。 ○ 『三河島菜』について知っていますか。 ・ 荒川区の伝統野菜。 ・ 江戸東京野菜。・ 食べたことがある。 ・ 見たことがある。葉っぱみたいな野菜。	◇ スライドを見ながら、『三河島菜』について説明する。 ◇ 『三河島菜』について知ること、教材への導入を図る。
展開 37分	2 教材「みかわしまなと えきいんさん」を視聴して話し合う。 ○ 『三河島菜』を駅の入り口の近くに置いた渡邊さんは、どんな気持ちだったでしょう。 ・ 見てくれるかな。・ 見てほしいな。 ・ 興味をもってくれたら嬉しいな。 ○ 『三河島菜』をじっと見つめて「三河島菜の種を取って、育ててみようかな。」と言って、育てているとき渡邊さんはどんな気持ちだったでしょう。 ・ 育てるのは大変だ。 ・ 本当に育つか。 ・ 大切に育てるぞ。 ・ また、地域の人たちに『三河島菜』を見てほしいな。 ◎ 『三河島菜』の種を駅にきた人たちに配ってみようかなと思って、実際に配った渡邊さんは、どんなことを考えていたのでしょうか。 ㊦・珍しい種をもらって嬉しいな。 ・ 『三河島菜』を食べたいな。 ・ 珍しい『三河島菜』を育ててみたいな。 ㊦・地域の人たちが喜んでくれて嬉しい。 ・ 『三河島菜』を育ててくれる人がいたら嬉しいな。 ・ 『三河島菜』を育てて良かった。 ・ 『三河島菜』が広がっているな。 3 自己を見つめる。 ○ 学校の周りや自分の家の周りに、みんなに伝えたいことや場所がありますか。	◇ 教材提示の前に登場人物の紹介をし、教材への興味をもたせる。（電子黒板） ◇ 場面絵（駅・駅員さん・植木鉢の写真）を提示し、考えさせる。 ◇ 三河島菜（花・緑の種等の写真）を見せ、更に駅員さんの写真も提示して、駅員さんの思いをじっくり考えさせる。 ◇ 三河島菜は、育てるのが難しい幻の野菜ということも確認する。それでも、育ててみたい気持ちを問う。 ★ 友達等と関わり、学び合う力 ◇ 多様な考えを出させるために、即興的な劇を取り入れて演じさせ、話し合わせる。その際、『三河島菜』の種をもらった人たちの思いを聞いた後で、渡邊さんの気持ちを聞くことで思いに気づきやすくする。 ☆ 即興的な劇を通して話し合うことで、地域の伝統を大切にしたり広めたりしたいと考えているか。【話し合い・発言】 ★ 活動を振り返る力 ◇ 図書や生活科で学習した「荒川区の良いところ」も参考にしてワークシートに書かせ

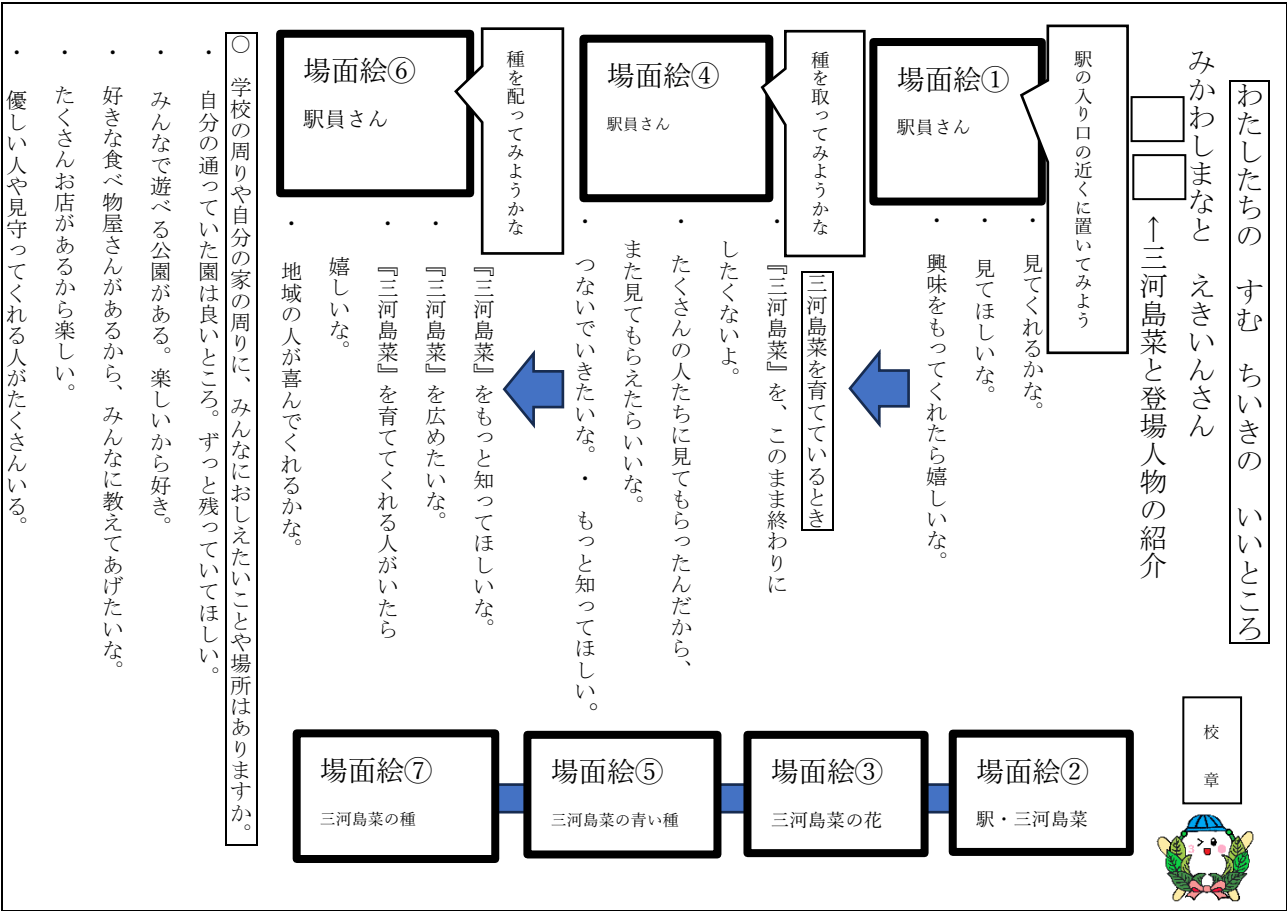
	・自分の通っていた園は良いところ。ずっと残っていてほしい。 ・みんなで遊べる公園は、楽しいから好き。 ・好きな食べ物屋さんがあるから、みんなに教えてあげたいな。 ・たくさんお店があるから楽しい。 ・優しい人や見守ってくれる人がたくさんいる。	る。かけない児童は相談したりヒントカードを見たりするなどして書かせる。 ☆ 自分の住む地域の良いところを、相手に伝えることで、自分自身の関わりの中で深めようとしているか。【発言・ワークシート】
終末 3分	4 三河島駅の駅員さんの話を聞く。 ・地域の人たちを思い、これからも地域を大切にできる子供たちへのメッセージを聞く。	◇ 荒川区の地域を大切に思い、実際に三河島菜を育てたり種を配布したりした駅員さんの話を聞くことで、自分たちの住む地域っていいなという気持ちを高める。※実際の駅員さん（GT）またはビデオメッセージ

(2) 評価

ア 役割演技を通して話し合うことで、地域の伝統を大切にしたり広めたりしたいと考えているか。

イ 自分の住む地域の良いところを、相手に伝えることで、自分自身の関わりの中で深めようとしているか。

(3) 板書計画



(4) ワークシート

12月16日 みかしまなど えきいんさん なまえ 一ねん 一くみ ばん	
●学校のまわりやじぶんのいえのまわりに、みんなにおしえたいことやばしはありますか。	●きょうのしゅをふりかえり、まるをつけよう。
はつげん、ハンドサインうなずいた ◎ ○ △	じぶんの かんがえを もてた ◎ ○ △
ともだちの かんがえを よく きけた ◎ ○ △	じぶんと ともだち、じぶんと どうじょう ◎ ○ △
じぶんの かんがえを くらべた ◎ ○ △	じぶんと ともだち、じぶんと どうじょう ◎ ○ △

(5) 授業観察の視点

ア 多様な考えを出させるために、ペアで話し合わせる活動は、自分の考えを話したり友達のことを聞いたりすることで、児童から多くの考えを引き出し、地域を愛することの大切さに気付かせることに適切なものとなっていたか。(友達と関わり学び合う力)

イ ワークシートには、地域に親しみをもって生活をしようとするということについて自分事として考えさせ、図書や生活科で学習した「荒川区の良いところ」も参考にしてワークシートに書かせる活動は、有効であったか。また、書けない児童への相談やヒントカードを見るなどして書かせる活動は適切であったか。(活動をふり返る力)